

事業所における自己評価結果 児童発達支援（公表）

令和2年 10月 10日 実施 事業所名 多機能型事業所 いすみ・ぷれも 14/14 回収率100%

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	14		・コロナ感染予防の為グループでは、利用規定人数は受け入れていませんが人数が増えると狭いので対応策を考えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	14		・職員の配置数に関する事は、事務職員から定期的に職員会議で報告をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	1	・子どもが2階への上り下りをする際は、バリアフリーになっていませんので、大人が手をつないで行う事としています。 ・子ども用の手すりを設置しました。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14		・療育中に利用者が集中できるように構造化しています。 ・玄関で、マスク使用の確認と検温と手のアルコール消毒を徹底しています。 ・各部屋にアルコールを設置し療育が終わる度に椅子や机と室内をアルコール消毒をしています。 ・声をかけあって確認しながら、協力し合い掃除をしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	14		・支援前に計画を立て支援後に反省評価し次の支援に生かしています。 ・朝礼で連絡事項を伝えあい支援の目的を共有し、PDCAを実施しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14		・療育についての具体的なアンケート調査を行い、療育計画等を組み立てています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14		・ホームページに、自己評価表及び保護者向け評価表を公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14		・年2回第三者委員会を開催し、業務改善につなげています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14		・外部講師による研修や内部の専門分野の指導による勉強会を通して、職員の専門性の知識の向上に努めています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14		・支援計画は、指導者がケース会議を開き熟知した後保護者に報告し、児童支援管理者が児童発達支援計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14		・本事業所ではWISC-IV等のアセスメントツールを使用していますが、他の専門機関での検査結果を保護者から提供される場合もあり、合わせて利用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14		・当事業所では、「発達支援」を中心に支援を行っています。 ・具体的な計画に基づき充実した支援ができるよう努力しています。 ・「家族支援」や「地域支援」も積極的に行っています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14		・支援計画に沿った支援を行っています。 ・療育後、保護者に利用者の様子や指導内容等を伝えていきます。 ・保護者の要望を聞き入れ、より良い支援に努めています。

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14		・個別活動プログラムと小集団活動プログラムがあり、支援チームで月毎のテーマも入れた年間プログラムを作成しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14		・子どもの状況に合わせて微修正しながら療育をしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	14		・子どもの年齢や状況に応じて、個別活動と小集団活動を組合わせて計画をしています。 ・保護者のニーズを受けとめて、児童発達支援計画を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14		・充実した支援を行うために、療育の間の空き時間や職員の打合せや療育の準備の時間を確保するように努めています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14		・支援終了後には、その日の振り返りを必ず時間をとって行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14		・記録は毎日療育終了後に行っています。また、記載チェックを記載者以外の職員とお互いに確認しあっています。 ・支援の検証、改善にもつなげています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	14		・年2回以上のモニタリングを行い、支援計画の見直しをしています。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	1	・保育所、幼稚園等のケース会議には、管理者・担当指導員等が参画しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	14		・母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携をとっています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0		・基本的に事業所には親子での来所なので、保護者にケアをお願いしています。職員は保護者と連絡を密に保護者の意見に寄り添い療育を共有しています。必要に応じて、主治医等や関係機関との連携体制を整えています。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14		・必要性に応じ、連携が取り合える状況です。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	2	・必要性に応じ、連携が取り合える状況です。
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	3	・専門機関と連携をとり、積極的に外部の専門研修なども受講しています。	

	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	11	3	・専門機関と連携をとり、積極的に外部の専門研修なども受講しています。そこで、障害のない子どもとともに保育や教育を受けています。
	㉑ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	3	・地域の関連会議があれば参加する心構えでいます。
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状態や課題について共通理解を持っているか	14		・利用者の療育の時以外でも、面談や書面などで保護者と共通理解を持つようになっています。
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	12	2	・日々の様子を共有をする中で、保護者の方の悩みや課題に寄り添うようにしています。今後は更に、保護者の育児力、対応力の向上を図る支援を充実させていきたいと思えます。
保護者への説明責任等	㉔ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	1	・契約時に説明し、療育的な活動方針も伝えています。
	㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13	1	・児童発達支援ガイドラインについて保護者の方に説明するよう心掛けています。 ・児童発達支援計画を丁寧に説明し同意を得ています。
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	1	・事業所で対応もしくは電話での対応体制を整備しているほか必要に応じて話し合う時間も設けています。 ・保護者が気軽に相談できるように心がけています。
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援をしているか	13	1	・今年6月の保護者会は、コロナ感染予防対策で開催中止となりました。 ・各保護者には総会の内容を含め、いすみ・ぷれも理事長の理念を文書で通知しました。 ・今年12月には保護者会を開催し保護者同志の連携の一助にしたいです。
	㉘ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	1	・事業所で対応もしくは電話での対応体制を整備しているほか必要に応じて会う時間も設けています。 ・申し入れにも職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応しています。
	㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3	・月1回「いすみ・ぷれもだより」を発行して保護者に配布しています。 ・さくら連絡網でもメールで発信しています。
	㉚ 個人情報の取り扱いに十分注意しているか	14		・個人情報の取り扱いについては十分配慮しています。
	㉛ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	1	・障害の特性を理解し、また保護者のもっている葛藤や障害児を受容することの難しさを、日々の育児の困難さ等に配慮しつつ情報伝達をしています。
	㉜ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12	2	・自治会に入会しています。 ・地区長とも地域の情報を共有しています。
	㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14		・防犯マニュアルは、職員が周知し、発生を想定した訓練を実施しています。 ・緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル についても検討し実施しています。
㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	2	・月に1回は、予告なく不意の職員個々の適切な判断を要求する避難訓練を実施しています。保護者や子どもも参加する時もあります。	

非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	14		・入所時に子どもの健康状態や服薬等を保護者に確認しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13	1	・医師の指示書に基づいて個別に対応していますが、食事は提供していません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14		・ヒヤリハット用紙を作成し、職員で情報について共有し、事故防止を常に意識するようにしています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13	1	・虐待防止マニュアルを作成し、職員へ周知するとともに研修を実施しています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	14		・療育時は基本親子の参加であり、事業所独自の身体拘束はありません。